

(3) 2021年(令和3年)2月2日(火曜日)

地域未来牽引企業に選定 記念インタビュー

関東道路(株)(筑西市)

代表取締役 武藤 正浩さん



選定証を手にする武藤代表取締役

キーワードは「地域環境」。昨年、経済産業省の地域未来牽引企業に選定された関東道路(株)(筑西市)の武藤正浩代表取締役は「優遇措置を活用した新工場の建設、建設関連だけでなく他業種とも連携したDX(デジタルトランスフォーメーション)の構築に取り組みたい」と今後の事業展望を披露する。さらに国連のSDGs(持続可能な開発目標)にも、引き続き取り組んでいく。

武藤代表取締役は、地域未来認定企業のメリットに触れ「地域未来投資促進法に基づき、農地転用許可、市街地化調整区域の開発許可などに係わる規制の特例措置が受けられる。この特例措置を視野に入れた新工場の建設も今後の事業プランのひとつ」と話す。

さらにマッチングサイト「J-GoodTech(ジエグテック)」にも注目しており「DXの基本は一定のプラットフォームづくり。環境をキーワードに同業者、他業種、そして地域と連携し、DXを構築したい。情報は非常に大事で、どのようなビジネスが生まれるのか、どこが係るのか分からない」と意欲を見せる。

地域未来牽引企業は、経済産業省が2017年から地域経済の中心的な担い手としての役割を担う事業者を選定する制度。今後、選定企業は地域経済の成長・発展に向けた積極的な取り組みが

期待され、税制や融資、補助面での支援を受けることができる。同社は、一般家庭の可燃性ごみを100%再利用する地域完全循環型ア

キーワードは地域環境 他業種と連携しDX構築も

それぞれ受賞し、これまでの地域環境に対する功績に対して下館商工会議所が推薦し、今回の選定に至った。またSDGsは、15年の国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な開発目標。17の目標、169の個別ターゲットで構成する。このうち11目標「住み続けられるまちづくりを」では30年までに都市の一人あたりの環境上の悪影響を軽減、12目標「つくる責任つかう責任」の再利用による廃棄物の発生を大幅に削減することを謳っている。地域全体の家庭から出るごみを100%リサイクルするエコファクトは、これらの目標を实践するなど、同社は革新的な取り組みを推進してきた。

さらに国が推進するICT施工にもいち早く取り組みを開始。アスファルトフィニッシャーやグレータを自社保有し、監理から施工までの体制を整えている。

スファルト合材「エコファルト」を開発し、地域の環境対策に貢献。10年に国土交通大臣表彰、17年には環境大臣表彰および茨城県知事表彰をそ